

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あっとほーむ見附		公表日		令和 7年 2月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	施設外での施設などを利用し、過ごし方を工夫している。	もう少し広いスペースがあってもよい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	職員配置は基準を満たす配置となっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	壁に玩具一覧や気持ち一覧カードを貼っている。座って遊べるスペースを作っている。	玄関に段差がある為、車いすの方は現在いませんが、スロープがあると良い。トイレに手すりがあると良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清掃を毎日行い、消毒なども行っている。トイレは汚れたらすぐに清掃している。床は水拭きで拭く事が可能である。おやつ時の席を全員分確保している。	静養室の広さがあると良い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	カーテンで仕切り等学習スペースを確保する等工夫をしている。フロア裏側なども個別で話しをする際には利用している。	クールダウンするための個室はない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎日、朝礼、夕礼を実施している。パート職員への引継ぎを午後行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	年に1回必ずアンケートを配布している。結果について職員全員で話し合いを設けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	定例会議やケース会議を毎月おこなっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7		第三者を入れているか不明であるため、今後検討をする。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	施設合同で年に数回研修会、勉強会を実施している。	正規職員のみに限らず、パート職員も研修などに参加ができるように考慮していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	事前に計画を立て、適切に作成できるように複数の職員が確認している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	保護者様から半年に1度のペースで、モニタリングの実施をし共通理解、また、要望などをお聞きしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		個々の応じた支援に関わる会議を持てるように努めていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		個別計画に添った具体的な支援ができるように、日々努める意識を職員が持てるように努める。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	気づきを言い合える雰囲気作りをし、明るい会社づくり、また、柔軟な対応が出来るように努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	具体的なわかりやすい計画書になるような表記を心掛けて作っている。	移行支援、地域支援については今後の課題としてつながりが持てるよう積極的に働きかける。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	年間行事などは担当者を決め、あらかじめ計画を立て、現地視察を行っている。	実施は共有しているが、立案は個人で行うこともあるので、いつでも相談しながら行える体制を作る。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	いろいろな情報を得ながら、固定化しないように案を出し合い工夫をしている。	本などからも情報を得て新しいものなども取り入れていけると良い。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	専門的支援を取り入れ、また、個別、集団と分け活動内容を計画している。個々の応じた支援を考え、支援ができるように努めている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	個別での目標、支援の在り方の確認を行い、振り返りをおこなっている。		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	記録にも残し、次に活かせるようにしている。			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎日、記録担当を決め、忘れずにおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	相談員さんも交え、モニタリングを行えるように予定を組んでいる。見学もいつでも受け入れている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	2		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	子どもの意思を汲み取る努力をしている。子ども会議を取り入れ、発言する力や好きなことが出来る時間を作り、余暇時間の充実を図っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	サービス担当者会議に参加できるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		地域のつながりが連携まで行っていない。保育園、幼稚園との連携は薄く連携が出来るとう良い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校や保護者様と可能な限り連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3		保育園、幼稚園などとの情報共有ができる。就学時に支援等がスムーズになるのではないかとと思われる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		現在まで高等学校を卒業したそのような利用者様がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4		スーパーバイズとまでつながっていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	1		コロナ禍が明け、交流タイミングを見計らっている段階である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	お迎え時や送迎時に必要な伝達事項を忘れずに伝えるように努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	地域の講演会などの案内をラインでお伝えしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	本契約時に運営規定や料金等の説明を分かりやすく伝えるよう努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	こうしてほしい等の細かいことなどお聞きし、要望の実現に向けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	必ず、計画書にはお母様もしくはお父様に拝見して頂きサインを頂き、控えをお渡ししている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	なにか困りごとや心配ごとがあれば、お聞きし、助言をしている。また、お忙しい方などには、ラインを活用している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	コロナ禍では出来なかったが、昨年度は3月に保護者会の開催をしている。歓談時間を設け和やかな雰囲気で行えるように心掛けている。	保護者同士や兄弟同士で交流する機会はなかったため、今後計画に入れられるとう良い。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	保護者様から伝達があったことに対して、迅速に誠意をもって対応することを心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ライン、Instagram、Xを活用し様子を伝えられている。あっとほーむ便りを定期的に発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	SNSでは個人が特定できない様に配慮している。個人情報の持ち出しは厳禁とし管理をしている。	写真やSNSに関して、1年ごとに同意を得ると良いかと考えている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	サイン、絵カードを活用している。分りやすい言葉で伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	地域のボランティアさんたちには来て頂いている。いつでも要望があれば参観、見学等受け入れている。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	非難訓練の実施、避難経路の確認、マニュアルの確認を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に4回避難訓練を計画実施している。紙芝居などの導入をし分かりやすく伝えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	アレルギーの方を把握し、おやつ配慮、また、もしもの場合の処置の仕方を共有している。服薬については変更があった場合はお知らせしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	避難経路の地図を配布し、万が一の時のことを周知している。マニュアルを作成し備えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットの報告書を記録し、検証して事故防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	社内研修、社外研修を実施している。	虐待かと思った時には注意しあえ、また、通報する意識をもてるようにする。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束については研修を通し知識として持ち合わせ、組織的に確認をすることを周知している。	